

## International Week（冬期ランチタイム報告会）を開催しました

平成 29 年度国際交流推進委員会による国際交流活動の一環として、今年度 2 回目の International Week を企画し、看護学部教員の国際的な活動の紹介やランチタイム報告会を開催しました。

### 【教員の海外での研究や活動内容の掲示】

看護学部明石キャンパスの 1 階吹き抜け部分に、看護学部教員が海外で発表した内容や海外での活動内容についてのポスターを掲示しました。日本のみならず世界で活躍している先生方の存在や、世界という広い視野で看護を見るという視点に触れることで、学生は、キャンパス内にいながらにして広い視野で看護を見る機会となりました。



### 【ランチタイム報告会】

初日の 1 月 18 日には、本学看護学部 3 回生の石黒奈津子さんにより、「ネパールの人々の暮らしと医療・福祉事情」というテーマで発表がありました。ネパールの知人の家を訪ね、現地民の生活を実際に体験した様子を語られていました。生活環境や文化の違いから感じたことや、自身がネパールで受診した際にみた医療・福祉事情についても日本と比較して感じたことを交えて話されていました。



2日目の1月19日には、看護学部3回生の住元美穂さんにより、「インドネシアへのトビタテ Japan 留学体験記」というテーマで発表がありました。トビタテ Japan に応募し、その留学で体験したことを、たくさんの写真を用いてお話して頂きました。インドネシアの総合病院や地域の療養所などの医療・福祉体制や、看護師教育や学生の授業・実習の様子について、留学の中で実際に訪れた医療施設、大学の写真を交えてお話しされていました。



2020年には東京オリンピックを控えており、今後更なる外国人観光客や居住者の増加が見込まれる日本では、看護の対象が日本とは異なる文化を持つ患者となる機会も多くなると考えられます。世界からみた日本の医療、看護について考える機会をもつことも大切なのではないのでしょうか。そんな機会を、今回の International Week ではみなさんに提供できていたら嬉しいです。